

## センクシアが工場・倉庫向け 鉄骨造耐震補強事業に参入 露出型固定柱脚の技術と経験を応用して根巻き補強に替わる新工法を開発

「ハイベース工法」をはじめとした露出型固定柱脚のパイオニアであるセンクシア株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：笠原伸泰）はこのほど、工場・倉庫向けの鉄骨造耐震補強事業に新たに参入いたします。

既存の工場・倉庫の耐震化は柱をコンクリートで覆う「RC根巻き補強工法」が一般的です。しかし同工法は生産活動への影響が避けられないだけでなく高いコストと長い工期が求められます。そのため導入に踏み切る企業が少なく、結果的に工場・倉庫の耐震化はそれほど進んでいません。

センクシア(株)は自社工場の耐震化を機にRC根巻き補強工法に替わる「スマートフィット工法」を新たに開発しました。この「スマートフィット工法」を中心に「鉄骨造耐震補強システム」として、生産活動への影響を最小限に抑える耐震補強を提供いたします。まずは関東圏を中心に販売を開始し、以後全国へ展開いたします。

鉄骨造耐震補強システムの売上については、2018年度に10億円を目指しています。

### 国内初！柱脚補強工法として耐力評価と剛性評価の性能証明を取得 RC根巻き補強不要、短工期・低コストの「スマートフィット工法」

センクシアは露出型固定柱脚のパイオニアです。

この技術と経験を応用し、基礎柱形内にあと施工アンカーを打設することで補強材が周囲に大きく張り出さずに柱脚の曲げ耐力・剛性を向上させる「スマートフィット工法」を開発いたしました。コンセプトは「生産性への影響を少なく」。そのコンセプト実現のため当社が所有する昭和36年建設の埼玉・熊谷市の工場の耐震補強工事において、十分な討議、性能確認を重ねて開発。現場の声が生きた工法が完成しました。

「スマートフィット工法」は構造実験により補強効果の確認を行い、鉄骨造柱脚補強工法としては国内で初めて、(一財)日本建築総合試験所(GBRC)の性能証明を取得いたしました(GBRC第16-24号)。

#### ■スマートフィット工法の特長

##### ①(一財)日本建築総合試験所の性能証明に裏付けられた耐力と剛性

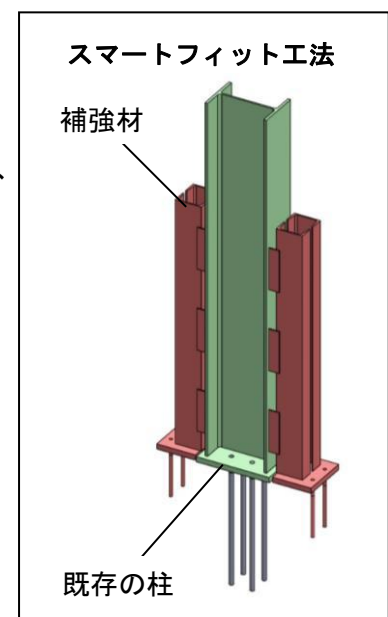
新たに考案した補強用の設計式を用いることで、耐力と剛性を精度よく評価できます。これにより国内で初めて鉄骨造柱脚補強工法として、性能証明を取得しました(GBRC第16-24号)。

##### ②省スペース化で生産活動への影響を抑えます

鋼製の補強材を柱の近傍に設置することで、柱からの張り出し寸法を低減。工場の利用可能面積を大きく損ないません。  
柱脚部周辺の視認性も確保できます。

##### ③コストと工期を削減します

基礎の増設のためのコンクリート工事の必要がないだけでなく、柱に設置した配電盤などの機器移設も減少するため、従来工法に比べてコストも工期も削減できます。  
工場・倉庫の稼働を確保しながらの工事も可能です。

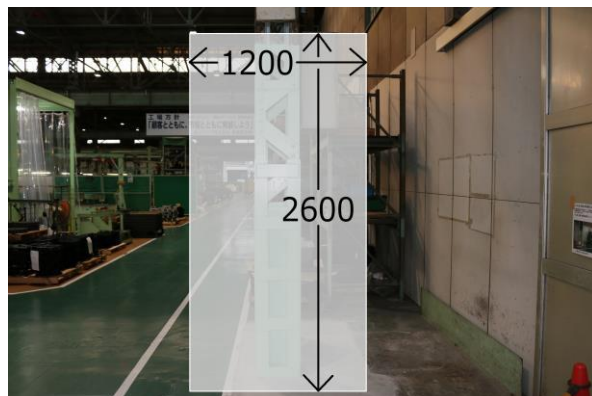
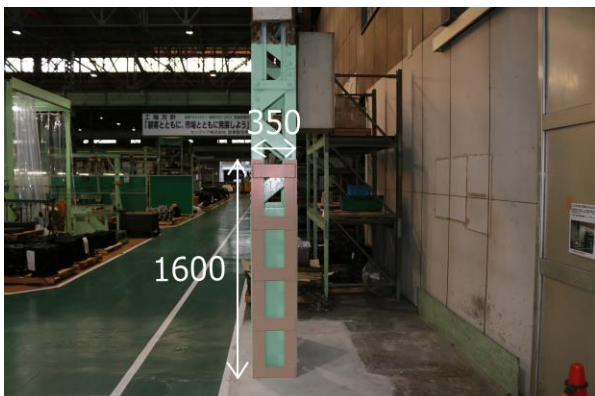
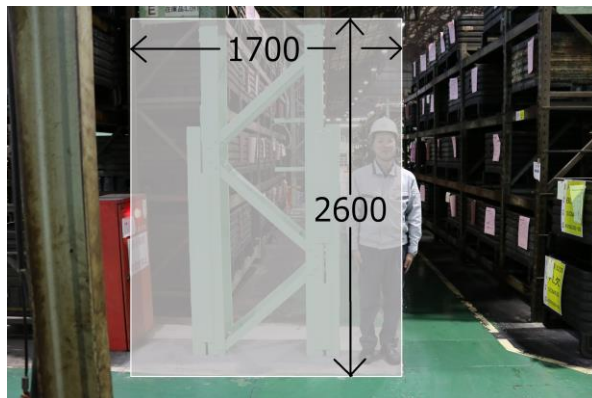


<本件に関するお問い合わせ先>

商品に関するお問い合わせ センクシア(株)広報・宣伝・IRグループ：TEL 03(3615)5789

<参考資料>

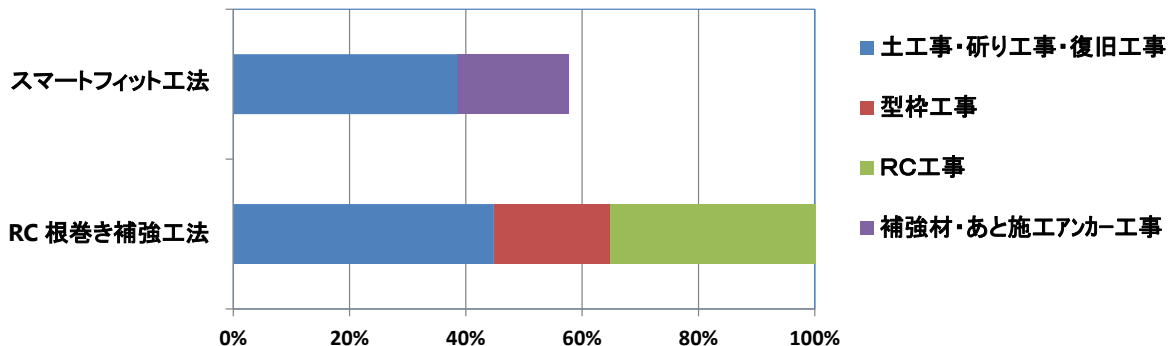
1. スマートフィット工法とRC 根巻き補強工法の必要スペースの比較



スマートフィット工法

RC 根巻き補強工法

2. 従来工法（RC 根巻き補強工法）とのコスト比較



埼玉・熊谷市  
センクシア(株)関東製作所

【開発経緯】自社工場の声から生まれたスマートフィット工法

当社は、昭和 36 年に建設、昭和 44 年に増設した工場を所有しています。今回の商品はこの工場の耐震化をきっかけに生まれました。

当初、従来工法 (RC 根巻き補強工法) で検討していましたが、高いコスト・長期にわたる工期・工期中の生産への影響・工事後の利用可能面積の減少と視認性の悪化による機能性の低下などの問題点が浮かび上がりました。

「工場の機能性を損なわず、低コスト・短期間で耐震化を行うためにはどうしたらよいのか」。

スマートフィット工法は、現場の声を随所に取り入れて完成した工法です。

<本件に関するお問い合わせ先>

商品に関するお問い合わせ センクシア(株)広報・宣伝・IR グループ : TEL 03(3615)5789